

# 日商簿記 1 級&全経上級フリーテキスト講座

## 工原 No.4【部門別計算 1】

収録日：平成 25 年 7 月 30 日

確認日：平成 27 年 5 月 27 日

動画は過去収録分を編集しております。途中で切れたりしますがご了承をお願いします。

別紙に Excel の表もあります。これは後半で確認して頂きます（既にご覧いただいている方は SKIP して下さい）

部門別の論点の基礎は、弊社の「日商簿記 2 級フリーテキスト講座」の部門別原価計算（約 1 時間）を確認して下さい。そのうえで、この動画をご確認下さい。

では直接配賦法、相互配賦法、階梯式配賦法、連立方程式法の部門別計算の計算結果を比べてみましょう。

<例題>

CMC工場には、製造部門（切削部門および組立部門）と補助部門（事務部門、動力部門および修繕部門）がある。次の資料により、直接配賦法、相互配賦法、階梯式配賦法、連立方程式法の部門別計算の計算結果を比べてみましょう。

### 1.配賦基準

配賦基準	合計	切削部門	組立部門	事務部門	修繕部門	動力部門
従業員数	124 人	56 人	40 人	4 人	8 人	16 人
修繕時間数	190h	70h	60h	10h	20h	30h
動力供給量	110kWh	50 k Wh	40kWh	-	10kWh	10kWh

### 2.製造間接費 1 次集計額（単位千円）

切削部	組立部	事務部	修繕部	動力部
8,710	7,440	2,400	800	2,650